

2019年度 傾斜的研究費（全学分） 研究報告書

【研究代表者所属】：都立産業技術大学院大学 産業技術研究科

【研究代表者氏名】：吉田敏

【研究代表者氏名フリガナ】：ヨシダサトシ

【研究代表者職】：教授

【国内研究分担者（所属、氏名、職）】

- ・産業技術研究科、成田雅彦、教授
- ・産業技術研究科、大崎理乃、助教

【国外研究分担者（所属、氏名、職）】

- ・特になし

【研究課題名】：国内の組織特性における創造プロセスの再考

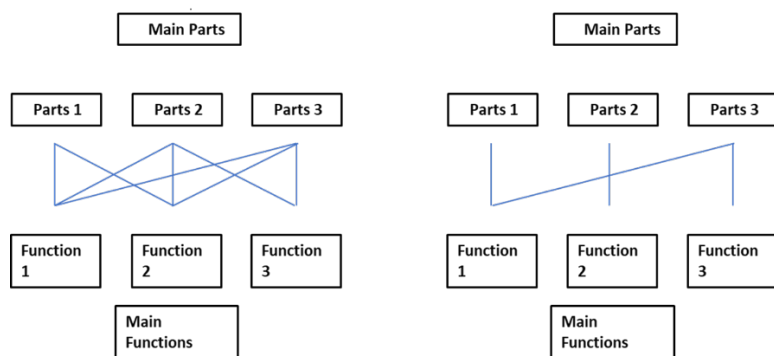
【研究実績の概要（600～800字程度で記入。図、グラフ等の使用も可。）】

・この研究の目的は、主要な製品やサービスに関する創造プロセスを調査・分析し、論理性と客観性を担保しながら、各対象に的確な創造プロセスを生み出すための基盤的な考え方を示すことである。

具体的には、複数の製品分野から、実際に製品事例を取り上げ、設計行為における感性面・機能面の検討内容を精査した。特に、マーケティング、ユーザー分析、概念設計、デザインコンセプト、機能設計、構造設計、デザイン開発、販売手法、ロジスティクス、モデルチェンジ、オプションなど、多方面の情報を収集し、比較を含めた分析を行った。そして、理論的側面、感覚的側面共に分析を進め、統括的評価に必要な軸を捉えた。その上で、両側面の考え方を融合させ、ユーザーにとっての製品の魅力に関する創造メカニズムの可能性について考察を加えていった。

本年度の実績としては、アーキテクチャ概念を用いた建築や不動産、オフィス家具などの製品分野を対象とし、機能と構造についての関係性を記述した（下図参照）。この内容は、建築や不動産産業にとっては、これまで厚めの議論されてきたことが無い状況であり、学術的な貢献は高いものとなったと考えている。

今後は、この研究成果と、研究の中で導き出された考え方を活用することにより、多くの学術研究の可能性が考えられる。特に、ユーザー視点に重心を置くことにより、価値創造と価値獲得に拠る新しい製品やサービスの開発手法に関する、学術的な貢献が考えられるものである。



【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

・特になし

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

・【査読論文】

Study of Description of Technological Characteristics in Construction Industry

Satoshi Yoshida

International Journal of Structural and Civil Engineering Research, Volume 8, No. 4, pp351-356,
2019

【作品等】

・特になし

【科学研究費補助金への応募状況、採択状況】

・特になし

【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

・特になし

【受賞等】

・特になし

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

・外務省 在ガボン日本国大使館事務所新営計画設計プロポーザル審査会 委員（吉田敏）

【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称、発明者、権利者、工業所有権の種類・番号、出願年月日、取得年月日)

・特になし

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名、所属、金額 (円))

・(研究代表者：吉田敏、産業技術研究科、700,000 円)